

(2026年1月分以降適用) **※変更箇所は下線太字部分**

7363 高速自動車国道料金			
品目	銘柄	単位	
高速自動車 国道料金	普通車、対距離制区間、100km以内の利用、ETCを利用した場合の料金	1回	
	料金区分（固定額部分・可変額部分）別、地域区分（地方部・大都市近郊）別、 <b>割引区分（平日料金・休日料金）別</b>		
	普通車、均一制区間、100km以内の利用、ETCを利用した場合の料金		
	区間別、 <b>割引区分（平日料金・休日料金）別</b>		
価格選定			
<p>(1) 対距離制区間及び均一制区間別に価格を選定する。</p> <p>(2) 対距離制区間においては、利用1回に対して課される固定額部分（ターミナルチャージ）及び利用距離に対して課される可変額部分（1km当たりの料金）を選定する。</p> <p>(3) 均一制区間においては、区間ごとに設定された、利用1回に対して課される均一料金を選定する。</p> <p>(4) 価格は、<b>割引区分（平日料金・休日料金）別</b>のETC割引後価格を用いる。ETC割引後価格は、時間帯別通行台数、割引適用日数を考慮して算出する。</p>			
指數算出方法			
<p>① <b>割引区分(d)別</b>のETC割引後価格について、原則として基準年の日数(A)を用いて加重平均し、料金区分(a)別、地域区分(b)別及び区間(c)別の平均価格をそれぞれ算出する。</p> $P_{t,a,b} = \frac{\sum_d P_{t,a,b,d} A_d}{\sum_d A_d}$ $P_{t,c} = \frac{\sum_d P_{t,c,d} A_d}{\sum_d A_d}$			
<p>② 対距離制区間の場合</p> <p>ア 基準時価格で除して、料金区分別、地域区分別の指數を算出する。</p> $I_{t,a,b} = \frac{P_{t,a,b}}{P_{0,a,b}} \times 100$			
<p>イ 料金区分別、地域区分別の料金収入割合(w)を用いて加重平均し、対距離制区間の指數を算出する。</p> $I_{t,\text{対}} = \frac{\sum_{a,b} I_{t,a,b} w_{0,a,b}}{\sum_{a,b} w_{0,a,b}}$			
<p>③ 均一制区間の場合</p> <p>ア 基準時価格で除して、区間別の指數を算出する。</p> $I_{t,c} = \frac{P_{t,c}}{P_{0,c}} \times 100$			
<p>イ 区間別の料金収入割合(w)を用いて加重平均し、均一制区間の指數を算出する。</p> $I_{t,\text{均}} = \frac{\sum_c I_{t,c} w_{0,c}}{\sum_c w_{0,c}}$			
<p>④ 対距離制区間及び均一制区間別の料金収入割合(w)を用いて加重平均し、品目別価格指數を算出する。</p> $I_t = \frac{I_{t,\text{対}} w_{0,\text{対}} + I_{t,\text{均}} w_{0,\text{均}}}{w_{0,\text{対}} + w_{0,\text{均}}}$			
価格指數の適用			
全国一律			

t : 比較時、0 : 基準時  
 a : 料金区分  
 b : 地域区分  
 c : 区間  
**d : 割引区分**

(2025年12月分まで適用)

高速自動車国道料金			
品目	銘柄	単位	
高速自動車 国道料金	普通車、対距離制区間、100km以内の利用、ETCを利用した場合の料金	1回	
	料金区分（固定額部分・可変額部分）別、地域区分（地方部・大都市近郊）別、曜日（平日・土曜・日曜）別		
	普通車、均一制区間、100km以内の利用、ETCを利用した場合の料金		
	区間別、曜日（平日・土曜・日曜）別		
価格選定			
<p>(1) 対距離制区間及び均一制区間別に価格を選定する。</p> <p>(2) 対距離制区間においては、利用1回に対して課される固定額部分（ターミナルチャージ）及び利用距離に対して課される可変額部分（1km当たりの料金）を選定する。</p> <p>(3) 均一制区間においては、区間ごとに設定された、利用1回に対して課される均一料金を選定する。</p> <p>(4) 価格は、曜日（平日・土曜・日曜）別のETC割引後価格を用いる。ETC割引後価格は、時間帯別通行台数、割引適用日数を考慮して算出する。</p>			
指數算出方法			
<p>① 曜日別のETC割引後価格について、日数を用いて加重平均し、料金区分(a)別、地域区分(b)別及び区間(c)別の平均価格をそれぞれ算出する。<u>なお、曜日別日数は原則として基準年の日数を利用する。</u></p> $p_{t,a,b} = \frac{p_{t,a,b,\text{平日}} \times 5 + p_{t,a,b,\text{土曜}} + p_{t,a,b,\text{日曜}}}{7}$ $p_{t,c} = \frac{p_{t,c,\text{平日}} \times 5 + p_{t,c,\text{土曜}} + p_{t,c,\text{日曜}}}{7}$			
<p>② 対距離制区間の場合</p> <p>ア 基準時価格で除して、料金区分別、地域区分別の指數を算出する。</p> $I_{t,a,b} = \frac{P_{t,a,b}}{P_{0,a,b}} \times 100$			
<p>イ 料金区分別、地域区分別の料金収入割合(w)を用いて加重平均し、対距離制区間の指數を算出する。</p> $I_{t,\text{対}} = \frac{\sum_{a,b} I_{t,a,b} w_{0,a,b}}{\sum_{a,b} w_{0,a,b}}$			
<p>③ 均一制区間の場合</p> <p>ア 基準時価格で除して、区間別の指數を算出する。</p> $I_{t,c} = \frac{P_{t,c}}{P_{0,c}} \times 100$			
<p>イ 区間別の料金収入割合(w)を用いて加重平均し、均一制区間の指數を算出する。</p> $I_{t,\text{均}} = \frac{\sum_c I_{t,c} w_{0,c}}{\sum_c w_{0,c}}$			
<p>④ 対距離制区間及び均一制区間別の料金収入割合(w)を用いて加重平均し、品目別価格指數を算出する。</p> $I_t = \frac{I_{t,\text{対}} w_{0,\text{対}} + I_{t,\text{均}} w_{0,\text{均}}}{w_{0,\text{対}} + w_{0,\text{均}}}$			
価格指數の適用			
全国一律			